

# 事業報告

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

## I 会社の現況に関する事項

### 1 事業の経過及びその成果

当期における国内経済をみると、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて国内需要が縮小するなど、同ウイルスの影響により大きな下押し圧力がかかる展開となり、年度通期ではマイナス成長となりました。

一方、県内経済は、住宅投資が弱い動きで推移し、設備投資も大幅なマイナスとなったが、個人消費や生産活動は概ね持ち直しの動きとなりました。また、公共投資も前年を上回る水準となったほか、雇用情勢も堅調な動きが継続するなど、全体的に同ウイルスの影響により悪化したものの個人消費や生産活動を中心に底入れの動きがみられました。

当社においては、2020年度（第40期）は、リアス線全線運行再開に伴う運賃収入の増加が期待されたものの、4月及び1月に新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が発出されるなど、同ウイルス感染拡大の影響等により観光客のみならず地元利用も大幅に減少し、鉄道事業収入をはじめ、関連事業収入及び営業外収入も大幅に減少しました。

当期は2019年度に引き続き、「いわての学び希望基金」を活用し、岩手県による通学定期の半額補助を実施したほか、新田老駅の開業（5月）、三陸鉄道ぶらり旅半額2枚きっぷの発売（6月）、鉄印帳の発売（7月）、さんてつアプリの配信（8月）等によるお客様の利便性向上、かいけつゼロ列車（9～10月）やプレミアムランチ列車（11月）、冬季における「こたつ列車」、「洋風こたつ列車」などの観光列車の運行、さらには企業ヘッドマーク及び車両ラッピングなど企業等との連携により、利用者の増加と収入の確保に努めてきました。

関連事業として旅行業では、震災学習列車、オリジナル震災復興研修等により、引き続き災害学習への需要対応を図りました。

また、物産事業においては、オンラインショップ、リアス線開業に合わせてオープンした直営店「さんてつや」において、当社オリジナルグッズをはじめ、沿線の企業とコラボした商品の販売を行いました。

この結果、輸送人員は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による団体利用のキャンセルや、少子化による生徒数の減少などにより大幅に減少し前年度比69.9%の635,519人となりました。

鉄道事業収入は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による地元利用・観光客の利用の減少や、ラッピング等の広告料収入の減少により前年度比59.4%の318,246千円、関連事業収入も、旅行業において前年度比44.0%、物産事業においても前年度比82.7%にとどまり全体で前年比68.6%の54,285千円となりました。

経常費用については人件費や、燃料他動力費、駅共同使用料、乗車券販売手数料の減少などにより、前年度比90.4%の983,715千円となりました。

その結果、経常利益は▲585,272千円となり、特別利益等を加えた当期純利益は3,752千円と前年度と比べて147,477千円の減益、計画と比べて2,588千円の増益となりました。

なお、当社では、安全・安心な輸送を確保するため、通信ケーブルの増設、踏切保安設備の更新、橋梁の改修やマクラギのPC化工事を行い、社員の外部訓練会、研修会への派遣など障害や事故の防止に取り組み、鉄道事故0件を継続しています。

【損益の状況】

(単位：千円※税抜)

項目	2020年度 実績	2019年度 実績	前年度 増減	前年度比	2020年度 計画	計画増減	計画比
鉄道事業収入	318,246	535,752	▲217,506	59.4%	540,920	▲222,674	58.8%
関連事業収入	54,285	79,084	▲24,799	68.6%	66,064	▲11,779	82.2%
営業外収益	25,912	70,145	▲44,233	36.9%	18,000	7,912	144.0%
経常費用	983,715	1,088,462	▲104,747	90.4%	1,021,442	▲37,727	96.3%
経常利益	▲585,272	▲403,481	▲181,791	—	▲396,458	▲188,814	—
特別損益	595,728	594,136	1,592	—	402,346	193,382	—
法人税等	6,704	39,426	▲32,722	—	4,724	1,980	—
当期純利益	3,752	151,229	▲147,477	—	1,164	2,588	—

2 営業の概況及びその成果

(1) 鉄道事業営業概況

① 輸送実績

2020年度の乗車人員については、新型コロナウイルス感染症の影響により、定期が前年度比83.8%、定期外が同52.1%となり、全体では同69.9%の635,519人となりました。

運輸収入については、新型コロナウイルス感染症の影響により、定期券収入が前年度比84.6%、一般個札が同54.1%となったことなどにより、全体では同55.3%の256,661千円となりました。

【輸送実績】

○リアス線全体

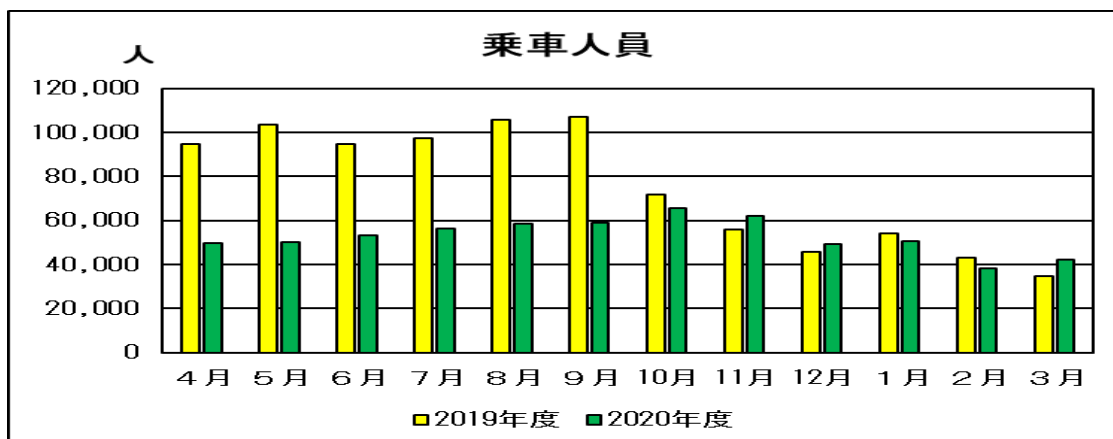
(単位：人)

項目	2020年度	2019年度	増減	前年度比
乗車人員	635,519	908,645	▲273,126	69.9%
定期	429,363	512,622	▲83,259	83.8%
定期外	206,156	396,023	▲189,867	52.1%

○線別乗車人員※1

盛～釜石間	112,855	177,717	▲64,862	63.5%
釜石～宮古間	262,432	436,895	▲174,463	60.1%
宮古～久慈間	296,457	380,351	▲83,894	77.9%

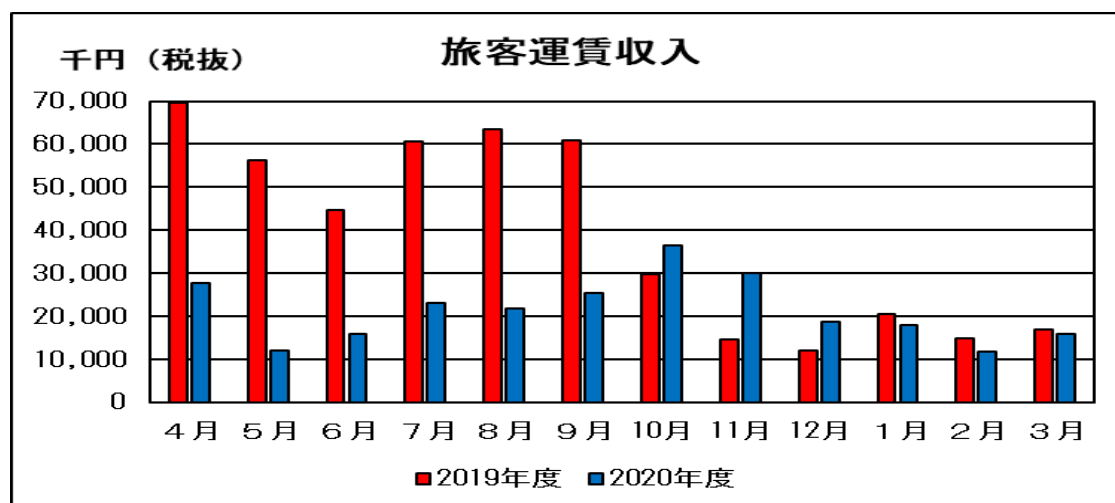
※1 線別乗車人員は、各路線を跨る乗車の場合、それぞれ1人乗車とカウントしてあるためリアス線全体の合計とは一致しません。



## ○運輸収入

(単位：千円※税抜)

項目	2020年度	2019年度	増減	前年度比
運輸収入	256,661	464,469	▲207,808	55.3%
定期券	91,663	108,286	▲16,623	84.6%
一般個札	123,916	228,912	▲104,996	54.1%
観光個札	8,783	34,930	▲26,147	25.1%
一般団体	13,602	43,181	▲29,579	31.5%
観光団体	18,697	49,160	▲30,463	38.0%



## ② 運転状況

2020年度の定期列車については、1日当たり、盛～釜石間で22本、釜石～宮古間を同じく22本、岩手船越～宮古間で1本、宮古～久慈間で24本を運転しました。

## 【運転状況】

駅間	盛～釜石	釜石～宮古	岩手船越～宮古	宮古～久慈
列車本数	22本	22本	1本	24本

## ③ 新田老駅開業

2020年5月18日に41番目の駅として、田老～摂待駅間に新田老駅を開業しました。

## ④ 観光列車及びイベント列車等

通常運転の列車に加え、観光列車及び地元団体や企業との共催によりイベント列車を随時運転しました。

なお2020年度は、「こたつ列車」・「洋風こたつ列車」や「プレミアムランチ列車」・「復興の今、震災学習列車」などを運転しました。

また、ヘッドマーク掲出やラッピングの実施等、他社と連携した企画も積極的に実施しました。

## 【主な観光列車】

洋風こたつ列車	宮古～盛間	(12月12日～2月28日の土日祝日)
こたつ列車	宮古～久慈間	(12月19日～3月28日の土日祝日)

### 【主なイベント列車】

かいけつゾロリ列車（9月19日～10月25日の土休日）

プレミアムランチ列車（11月1日～29日の土日祝日）

（宮古・釜石コース）（宮古・久慈コース）

クウェート国の復興支援に感謝する列車（3月1日～31日）

3.11を語り継ぐ 感謝のリレー列車（3月11日）

光る絵本展 in 三陸鉄道（3月12日～16日）

### 【他鉄道会社との共同企画列車】

トロッコ列車風っこ（9月12日・13日）

ありがとうリゾートうみねこ（9月26日・27日）

（東日本旅客鉄道盛岡支社と共同企画）

### ⑤ 新企画乗車券の発売等

・三鉄ぶらり旅半額2枚きっぷを発売（6月25日～1月31日）

・三陸鉄道×観光タクシープランを発売（6月25日～8月31日）

### ⑥ 記念乗車券の発売

・新田老駅開業記念きっぷを発売

・「東日本大震災から10年 写真でたどる軌跡きっぷ」を発売

### ⑦ 鉄印帳の発売

・第三セクター鉄道等協議会加盟40社共同企画として鉄印帳を発売

・宮古高校との連携によるオリジナル鉄印を発売

### ⑧ 企業等との連携

・企業ヘッドマーク及び車両ラッピングの実施

ヘッドマーク クラブツーリズム（株）、ブラザー工業（株）、岩手日報広告社等

車両ラッピング イオン東北（株）、東北電力（株）、（株）ポケモン、（株）岩手リオン等

## (2) 関連事業営業概況

### ① 旅行業

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、団体旅行や修学旅行が中止・延期となり、団体扱いは大幅に減少しました。

しかし、募集型企画の「かいけつゾロリ」企画は好調を維持しているほか、岩手県内・東北地方の学校の修学旅行で震災学習列車への参加が増加しました。

### 【主な旅行業の実績】

・着地団体：オリジナル震災復興研修 1件 11名参加（前年度4件 509名）

・教育団体：中学校・高校修学旅行 3校 139名参加（前年度7校 340名）

・一般団体：大型客船寄港OPツアー 取扱なし（前年度4件 272名）

・募集团体：かいけつゾロリ列車企画 12回 459名参加（前年度8回 258名）

・震災学習列車： 132件 5,613名参加（前年度160件 6,484名参加）

・三鉄沿線の旅： 104件 235名利用（前年度107件 286名参加）

## ② 物産事業

### ア 直営店「さんてつや」の営業

沿線市町村を中心とした特産品や当社オリジナルグッズを販売したほか、定期的に特設コーナーを設けるなど、販売促進に努めました（店舗での売上 16,651 千円）。

### イ オンラインショップの運営

当社オリジナルグッズを中心に販売を強化したほか、3月には直営店と合同で「復興支援感謝セール」を実施し、販売促進に努めました（売上 31,355 千円）。

### ウ オリジナル商品の開発・販売

・「さんてつマスク」・「さんてつポロシャツ」・「さんてつトートバッグ」等、計8品

・三鉄ギフト（夏・冬）の販売

夏（6月～8月）[10,063千円]・冬（11月～1月）[11,385千円]

・地元菓子店とのコラボレーションによるバレンタイン企画を実施

久慈市 ローゼット 「久慈ありすのバレンタインショコラ」

釜石市 アンジェリック洋菓子店 「釜石まなのバレンタインショコラ」

・三陸の水産関係者を応援する漁業者応援プロジェクトを実施

### エ イベント外販

・沿線市町村・関係団体等との連携によるイベント（オンラインを含む）への出店（30回）

### オ ふるさと岩手応援寄附

・ふるさと納税制度を活用した、岩手県のふるさと岩手応援寄附による、三陸鉄道支援に対する返礼品等の発送を行いました。

寄付いただいた人数 148 人 取扱額 2,025 千円

### カ 令和2年7月豪雨で被災した肥薩おれんじ鉄道、くま川鉄道支援のためのグッズ販売

## (3) 安全安定輸送への取組

当社においては、安全、安心でかつ安定的な運転の確保に努めており、2020年度も老朽化が進んだ施設・設備の更新、改修・維持補修を順次、実施しました。

なお、保安設備についても新增設が必要な個所への設置、規制区間等の見直しを行うとともに、社員を外部訓練会に参加させる等の教育訓練を行いました。

また、社内においては定期的に安全管理委員会を開催するとともに、安全総点検、社内監査などを実施しました。

### ① 安全対策事業

・鉄道軌道安全輸送設備等整備事業

リアス線盛～綾里駅間通信ケーブル増設工事

リアス線宮古～山口団地駅間踏切保安設備更新工事（館合踏切）

リアス線一の渡～久慈駅間橋りょう改修工事（4箇所）

リアス線盛～綾里駅間・山口団地～一の渡駅間マクラギPC化工事

### ② 保安対策事業

・外部訓練への参加

・安全管理委員会の定例開催及び安全総点検、社内監査の実施

・異常時対応の実車訓練を実施（踏切事故対応）

#### (4) 支援の状況

当社は、厳しい財政状況から国、県、市町村等から必要な支援を受けており、今期においては、次のとおり支援を受けました。

・ 運営費補助（設備維持補助）	217,483 千円
・ 運営費補助（人材確保支援）	15,000 千円
・ 鉄道安全輸送設備等整備事業補助	214,603 千円
・ 三陸鉄道経営移管交付金	138,724 千円
・ 三陸鉄道運行支援交付金	190,000 千円
・ 鉄道施設災害復旧事業費補助	1,649,969 千円
・ 地域公共交通感染症拡大防止対策事業費補助	29,469 千円
・ 地域企業経営継続支援事業費補助	4,200 千円

### 3 対処すべき課題

2020 年度（第 40 期）は、リアス線全線運行再開に伴う利用客の増加及び運賃収入の増加が期待されたものの、4 月及び 1 月に新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が発出されるなど、同ウイルス感染拡大の影響等により観光客のみならず地元利用も大幅に減少し、鉄道事業収入を始め、関連事業収入及び営業外収入も大幅に減少しました。

同ウイルス感染症の収束が未だ見通せない中、引き続きお客様の協力もいただき、感染症拡大防止対策を実施しながら、安全安心な輸送の確保を図っていきます。

その上で、住民の利便性やニーズに配慮したダイヤの設定や定期運行、多くの皆様が楽しめるイベントや企画列車の実施など地域の方々に日々愛され、利用される鉄道を目指します。

また、平成 31 年 1 月に認定を受けた「鉄道事業再構築実施計画」に則り、「安全・快適な輸送サービスの確保」、「利用促進等による収入の確保」、「一貫運行による経営の改善等」に引き続き取り組み、安全性・利便性の向上や投資計画・経費構造の抜本的な見直し、組織体制の強化、人員の確保と適正な配置など経営資源の効率的な運用を図っていきます。

### 4 設備投資の状況

当期に実施した設備投資の総額は 234,135 千円であり、その内容は次のとおりです。

○ 鉄道安全輸送設備等整備事業補助金	214,603 千円
(1) リアス線盛～綾里駅間通信ケーブル増設工事	67,582 千円
(2) リアス線宮古～山口団地駅間踏切保安設備更新工事	18,856 千円
(3) リアス線一の渡～久慈駅間橋りょう改修工事	14,100 千円
(4) リアス線マクラギ P C 化工事	114,065 千円
○ 経営移管交付金	12,070 千円
(1) 鵜住居駅構内防草シート設置工事	10,370 千円
(2) 宮古～釜石駅間・駅名板他改修工事	1,700 千円
○ 設備維持補助金	6,287 千円
(1) リアス線変圧器更新工事	6,287 千円
○ 地域企業経営継続支援事業費補助金	1,175 千円
(1) 顔認証型 A I サーマルカメラ設置	1,175 千円

## 5 資金調達の状況

令和元年東日本台風に係る災害復旧事業の実施に伴う資金需要から、岩手県より短期借入を行いました。

2020年度借入額 100,000千円（2021年3月30日に返済）

## 6 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区 分	2017年度 (第37期)	2018年度 (第38期)	2019年度 (第39期)	2020年度 (第40期)
営業収益	351,755千円	337,402千円	684,982千円	398,443千円
当期純利益	▲30,573千円	▲14,455千円	151,229千円	3,752千円
1株当り当期純利益	▲1,019円	▲472円	4,942円	122円
総資産合計	460,389千円	1,887,785千円	884,968千円	2,651,915千円

## 7 当該事業年度の末日における主要な事業内容

- (1) 鉄道事業法による第1種鉄道事業及びこれに附帯関連する事業
- (2) 旅行業法による第2種旅行業
- (3) 物品販売業

## 8 当該事業年度の末日における主要な事業所等

本 社	宮古市栄町4番地
事業所	・事業本部 宮古市栄町4番地
	・運行本部 宮古市宮町1丁目1-19
	・施設本部 宮古市宮町1丁目1-50
	・旅客営業部 宮古市宮町1丁目1-80
	宮古駅 宮古市宮町1丁目1-80
	・大船渡派出所 大船渡市盛町馬場4-4
	釜石駅 釜石市鈴子町22-5
	盛駅 大船渡市盛町東町裏16
	・久慈派出所 久慈市川崎町10-20

※市町村等への業務委託駅：綾里駅・三陸駅・大槌駅・陸中山田駅（休業駅：田老駅）

岩泉小本駅・島越駅・田野畑駅・普代駅・陸中野田駅・久慈駅

## 9 従業員の状況

区 分	従業員数	平均年齢	平均勤続年数
男 子	80名	44.1才	18年3ヶ月
女 子	8名	31.8才	3年8ヶ月
計	88名	43.0才	17年0ヶ月

※ このほか臨時雇用従業員18名、パート従業員2名、岩手県から2名、東日本旅客鉄道(株)から出向25名を受入れています。

なお、2020年6月30日付けで1名、11月15日付けで1名、12月31日付けで1名、2021年3月31日付けで3名が退職いたしました。

## 10 親会社等に関する事項について

当社は、岩手県及び岩手県内市町村から発行済み株式総数の75.8% (23,200株)の出資を受けています。

※ 岩手県47.1% (14,400株)、沿線市町村22.2% (6,800株)、沿線外市町村6.5% (2,000株)、岩手県知事が取締役会長に就任しています。

## II 株式に関する事項

- 1 会社が発行する株式の総数 100,000株
- 2 発行済株式の総数 30,600株
- 3 当事業年度末の株主 46名
- 4 主な株主の状況

株主名	持株数	持株比率
岩手県	14,400株	47.1%
宮古市	1,350株	4.4%
(株)岩手銀行	1,200株	3.9%
大船渡市	1,150株	3.8%
日本製鉄(株)	1,000株	3.3%
東北電力(株)	1,000株	3.3%
一関市	700株	2.3%
久慈市	650株	2.1%
釜石市	650株	2.1%



### Ⅲ 会社役員に関する事項

#### 1 取締役及び監査役の状況

会社における地位	氏 名	他の法人等の代表状況等
取締役会長	達 増 拓 也	岩手県知事
取締役副会長	山 本 正 徳	宮古市長
取締役副会長	戸 田 公 明	大船渡市長
取締役副会長	遠 藤 譲 一	久慈市長
取締役副会長	野 田 武 則	釜石市長
代表取締役社長	中 村 一 郎	
取 締 役	平 野 公 三	大槌町長
取 締 役	佐 藤 信 逸	山田町長
取 締 役	中 居 健 一	岩泉町長
取 締 役	石 原 弘	田野畑村長
取 締 役	柁 屋 伸 夫	普代村長
取 締 役	小 田 祐 士	野田村長
取 締 役	岡 田 真 一	岩手開発鉄道(株) 代表取締役社長
取 締 役	大 井 誠 治	岩手県漁業協同組合連合会 代表理事会長
取 締 役	佐 々 木 淳	岩手県ふるさと振興部長
取 締 役	金 野 淳 一	
監 査 役	田 口 幸 雄	(株)岩手銀行 代表取締役頭取
監 査 役	石 塚 恭 路	(株)北日本銀行 代表取締役頭取

#### 2 取締役又は監査役ごとの報酬等の総額

取締役の報酬総額 5,040 千円

監査役の報酬はありません。

### Ⅳ 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当する事項はありません。